

ほうでえ～

ありゃ～のう

# 周防大島町の話題

## アロハシャツで「お・も・て・な・し」



▲開幕セレモニーでフラダンスを披露する久美保育所の園児

6月22日、アロハキャンペーン2018の開幕セレモニーが役場大島庁舎で開催されました。

式典では、久美保育所の園児9人が「アロハ大島」、平成22年に姉妹島のカウアイ島から友好都市の子どもたちのために作られたファミリージック「カイマナくん」の2曲に合わせてフラダンスを披露しました。

キャンペーンは8月31日まで実施され、期間中は、役場、銀行、郵便局、農協、商工会、観光協会、各福祉施設、ホテル等の職員がアロハシャツでもてなします。

皆さんもアロハシャツでこの夏を過ごしませんか。

## 患者さんに寄り添って

6月18日、大島看護専門学校で20回生の戴帽式が行われました。

式では厳かな雰囲気の中、山本幸子学校長から2年生29名一人一人にナースキャップ（男子学生にはポケットチーフ）が与えられました。

ナイチンゲール像から灯りを受け取った学生たちは、これから始まる本格的な実習を前に、決意を新たに力強く誓いのことばを斉唱しました。



## 平和のための努力を 「陸奥慰霊祭」

6月8日、戦艦陸奥殉難将兵慰霊祭が油田農村環境改善センターで行われ、全国から遺族や関係者約90人が参列し、犠牲者の冥福を祈りました。

ご遺族を代表して、大野小郎副艦長の長男の大野忠彦さんが「われわれが今味わっている平和が長く長く続くことを祈願する。お互いにいるいろいろな立場で平和のために努力することをお願います」とあいさつされました。

また、油田地区の吟詠友の会の皆さんによる詩吟も奉納され、犠牲者の冥福と、平和への祈りを捧げました。

戦艦「陸奥」は、75年前の昭和18年6月8日、伊保田沖約3kmで原因不明の爆発で沈没。乗組員1474人のうち1122人が犠牲になりました。



▲ご遺族を代表してあいさつする大野忠彦さん